【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成18年9月7日(2006.9.7)

【公開番号】特開2001-87282(P2001-87282A)
【公開日】平成13年4月3日(2001.4.3)
【出願番号】特願平11-268761
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　19/00　　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/00　　(2006.01)
Ｈ０４Ｂ　10/22　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　19/00　　５０２
Ｈ０４Ｂ　 9/00　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成18年7月24日(2006.7.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
手術機器と、
光学式受信装置を有し、前記手術機器の少なくとも位置を検出して表示する位置検出表示装置と、
前記手術機器に取り付けられて、前記光学式受信装置によって検出される複数の信号部材と、
を具備し、
前記位置検出表示装置と前記手術機器との間で光通信を行うべく、該光通信のための送受信部を、前記光学式受信装置と、前記複数の信号部材で囲まれる範囲内又は前記複数の信号部材が一体に構成された信号板とに設けたことを特徴とする手術支援システム。
【請求項２】
手術機器と、
光学式受信装置を有し、前記手術機器の少なくとも位置を検出して表示する位置検出表示装置と、
前記手術機器に取り付けられて、前記光学式受信装置によって検出される複数の信号部材と、
を具備し、
前記位置検出表示装置と前記手術機器との間で光通信を行うべく、該光通信のための受信部を前記光学式受信装置に設け、前記光通信のための送信部を、前記複数の信号部材で囲まれる範囲内又は前記複数の信号部材が一体に構成された信号板に設けたことを特徴とする手術支援システム。
【請求項３】
前記信号部材の少なくとも１つが前記手術機器の送信部を兼ねていることを特徴とする請求項１又は２記載の手術支援システム。
【請求項４】
前記光学式受信装置の位置検出部が前記位置検出表示装置の受信部を兼ねていることを特徴とする請求項１又は２記載の手術支援システム。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
また、第２の発明に係る手術支援システムは、手術機器と、光学式受信装置を有し、前記手術機器の少なくとも位置を検出して表示する位置検出表示装置と、前記手術機器に取り付けられて、前記光学式受信装置によって検出される複数の信号部材と、を具備し、前記位置検出表示装置と前記手術機器との間で光通信を行うべく、該光通信のための受信部を前記光学式受信装置に設け、前記光通信のための送信部を、前記複数の信号部材で囲まれる範囲内又は前記複数の信号部材が一体に構成された信号板に設ける。
また、第３の発明に係る手術支援システムは、第１の発明又は第２の発明において、前記信号部材の少なくとも１つが前記手術機器の送信部を兼ねている。
また、第４の発明に係る手術支援システムは、第１の発明又は第２の発明において、前記光学式受信装置の位置検出部が前記位置検出表示装置の受信部を兼ねている。